

貯湯式 電気湯沸器 取扱説明書

S B 型

A タイプ

EW-N3A-SB

EW-N4A-SB



B T 型

A タイプ

EW-N3A-BT

EW-N4A-BT

ET-N4A



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。

設置工事(試運転)後は、本書をご使用になる方に必ずお渡しください。本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

(本書に記載されている事項を守らないで発生した事故について、弊社は責任を負いません。)

株式会社 **日本アトミック**

プロティスシリーズ PROTICE

安全にお使いいただくために・・・ P.1

製品の特長 …………… P.3

製品について …………… P.4

EW-N3A (壁掛型) …………… P.4

EW-N4A (壁掛型) …………… P.5

ET-N4A (置台型) …………… P.6

運転時の注意事項 …………… P.7

SB 型 運転方法 …………… P.8

BT 型 運転方法 …………… P.9

お手入れの方法 …………… P.10

長期間使用しないときは………… P.10
(排水の方法)

日常のお手入れ………… P.11

保守点検と実施の目安………… P.11
(管理技術者の方のみ)

故障と思われる前に………… P.12

エラー表示………… P.14

アフターサービス………… P.15

施工前の準備………… P.16

施工前にご確認ください………… P.16

工事説明………… P.18

湯沸器の取付………… P.18

配管工事………… P.19

電気工事………… P.21

確認事項………… P.22

ご使用の前に

運転のしかた

お手入れ

お困りの時

仕様・工事説明

安全にお使いいただくために

この度は日本イトミック製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございました。安全にお使いいただくために取り扱いを誤った場合の危害・損傷の程度を下記に表示してあります。本書をよくお読みいただき、内容をご理解の上、末永くご使用ください。

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただく事項を記載しました。設置の前に、本書を必ずお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は高温注意を意味します。)



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は分解禁止を意味します。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと、という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

警告



アース(D種接地)工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。



電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。
火災の原因になります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
万一の故障等による漏電発生時に感電・火災のおそれがあります。

排水時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。
感電のおそれがあります。



絶対に改造はしないでください。
火災・感電・やけどやケガの原因となります。



屋外に設置しないでください。
感電や故障の原因となります。

本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。
発火のおそれがあります。

濡れた手で電源の操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告	
	湿気の多い場所や浴室には設置・使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。
	設置・メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口、排水管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠ 注意	
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	EW シリーズ：本体は湯沸器の運転質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	ET シリーズ：本体は湯沸器の運転質量に耐えられる十分な強度を持つ調理台などに必ず水平に設置し、 付属の耐震バンドで固定してください。 転倒・漏水の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因になります。
	BT 型：満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	給湯温度が 60℃以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作や故障の原因になります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破裂してやけどをするおそれがあります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

製品の特長

本製品には下記のような特色があります。運転のしかたにそれぞれの機能を生かした使用方法が記載されています。十分にお読みいただき、ご活用ください。

共通の特色

- 1 スイッチを一つ押すだけで運転開始。操作が簡単です。

- 2 LEDランプで作動状況を表示します。

- 3 開放型なのでカルキが抜けて飲料用に適した高温給湯(約 99℃)が可能です。

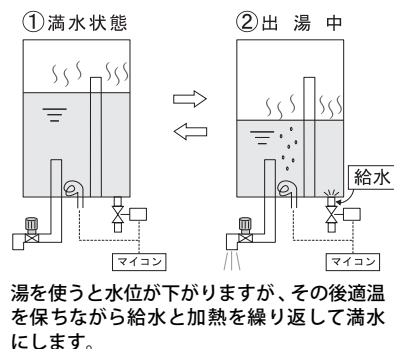
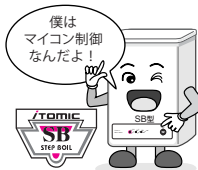
- 4 空焚き・過昇温検出機能など安全装置を装備。


EW-N3A-SB、EW-N4A-SBの特長

- 5 給水・給湯制御にステップボイル方式採用のEW-SB型は温度と水位をマイコンでコントロールして常にタンク内のお湯を約 90℃以上の適温に保って運転します。またタンク内の部品が小さいため同寸法のBT型よりも2~3リットル貯湯量が大きくなります。

SB型の原理

SB型はマイコンと電磁弁でお湯の温度を常に約 90℃以上に保つように給水を制御して運転します。そのため同程度の貯湯量のBT型よりも断続して使えるお湯の量は多くなります。(ただし、出湯能力以上の湯を出すと湯切れを起こしますので、お湯の使いすぎにはご注意ください。)

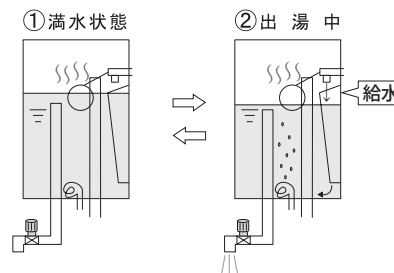


EW-N3A-BT、EW-N4A-BT、ET-N4Aの特長

- 6 給水制御にボールタップを使用するボールタップ方式採用のBT型の温度制御はシンプルな電子サーモ方式。

BT型の原理

BT型はお湯を使用して水位が減った分を湯温に関係なく機械的に給水します。そのため、連続出湯した場合にはお湯の温度が下がることがありますので、少量ずつ湯を使用する場合に適しています。



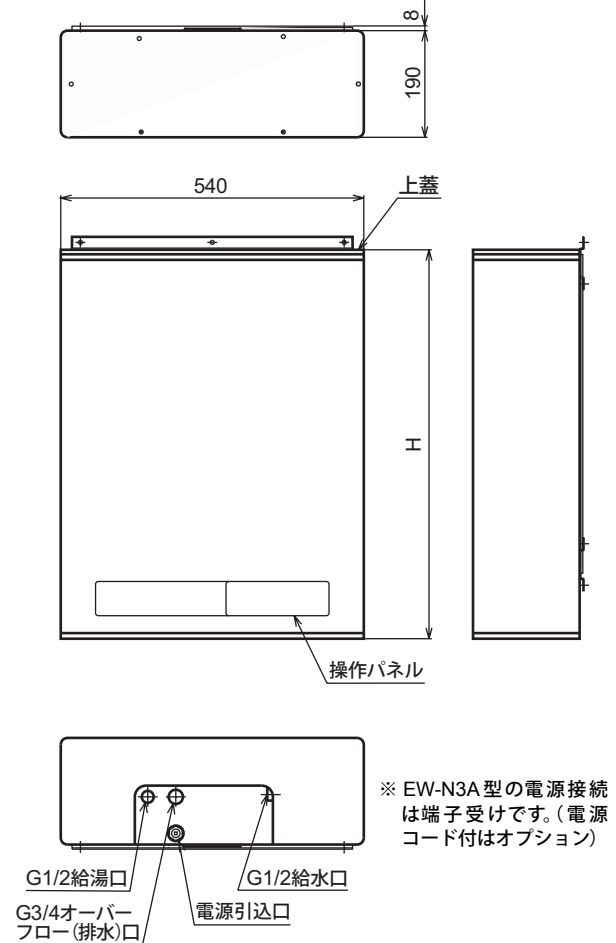
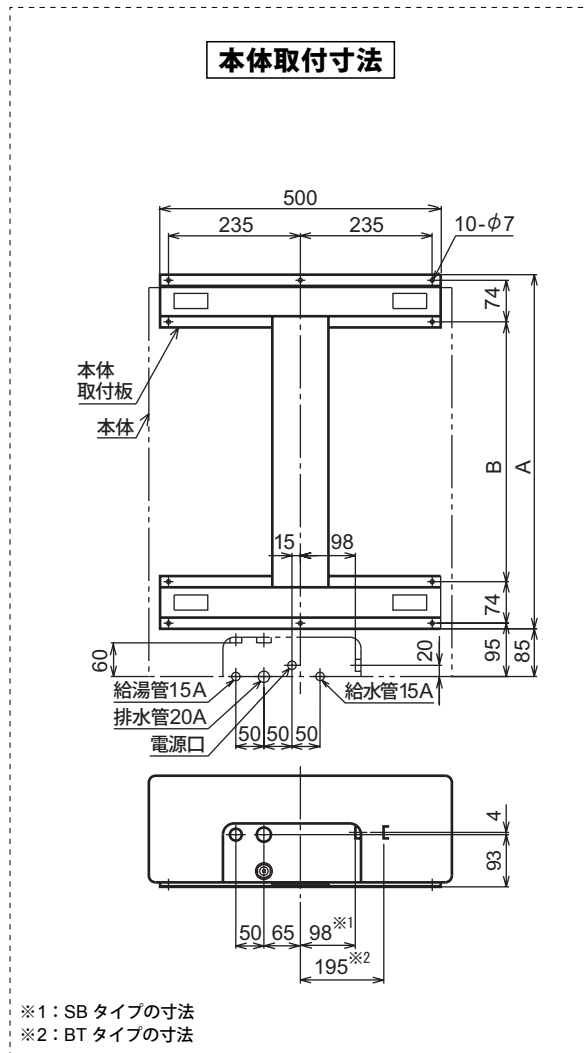
EW・ETシリーズ共通仕様

設定温度	約 99℃ (工場出荷時に変更している場合は異なります。)
給水圧力	0.1 ~ 0.3MPa
給水・給湯接続口径	G1/2 (15A)
排水接続口径	G3/4 (20A)
使用水温	0 (但し凍結のないこと) ~ 40℃以下
周囲温度	0 (但し凍結のないこと) ~ 40℃
湿度	10 ~ 60% 以下 (但し結露のないこと)
設置場所	屋内

製品について

EW-N3A (壁掛型)

ご使用の前に



EW-N3A / EW-N4A 操作パネル (共通)



仕様表

標準電源……単相 100V / 200V

SB(ステップボイル)型						BT(ボールタップ)型					
型番	貯湯量 (リットル)	※3 標準 ヒーター 容量 (kW)	※4 給湯予測値 (沸き上がり温度99℃の場合)		満水 質量 (kg)	型番	貯湯量 (リットル)	※3 標準 ヒーター 容量 (kW)	※4 給湯予測値 (沸き上がり温度99℃の場合)		満水 質量 (kg)
			①沸き上がり 時間(分)	②飲用専用時 連続給湯予測値					①沸き上がり 時間(分)	②飲用専用時 連続給湯予測値	
EW-23N3A-SB	23	1.5 / 2.0	90 / 68	212 杯	36	EW-20N3A-BT	20	1.5 / 2.0	79 / 59	160 杯	33
EW-33N3A-SB	33	1.5 / 3.0	129 / 65	342 杯	52	EW-30N3A-BT	30	1.5 / 3.0	118 / 59	240 杯	49
EW-43N3A-SB	43	1.5 / 3.0	168 / 84	462 杯	66	EW-40N3A-BT	40	1.5 / 3.0	157 / 79	320 杯	63

※3: 左は単相100V、右は単相200Vのヒーター容量です。

※4: 能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。

①沸き上がり時間: 左は単相100V、右は単相200V。(水温15℃で算出)

②飲用専用時連続給湯予測値: 飲用可能温度をBT型 80℃以上、SB型 90℃以上とし、100cc/杯で算出。(毎分4リットルを飲用専用として使った場合の値であり、食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。)

寸法表

(単位mm)

	EW-23N3A-SB	EW-33N3A-SB	EW-43N3A-SB
	EW-20N3A-BT	EW-30N3A-BT	EW-40N3A-BT
H	560	693	826
A	498	631	764
B	330	463	596

EW-N3A型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

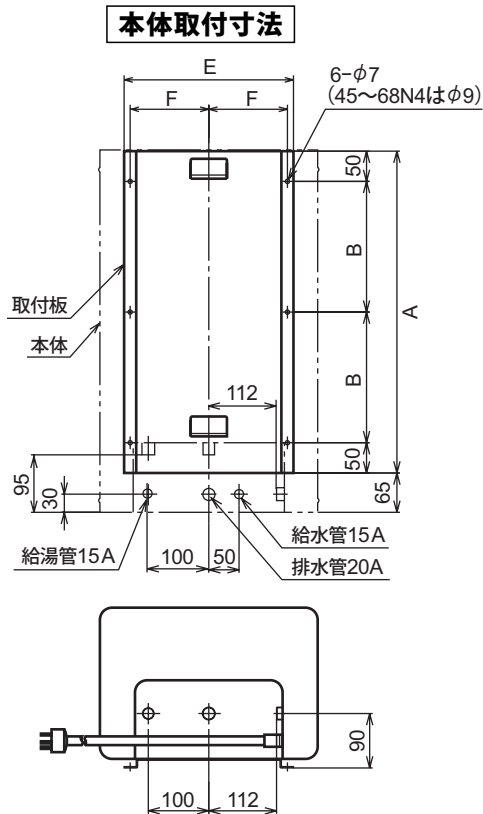
この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。(※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。)

場所	離隔距離(cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

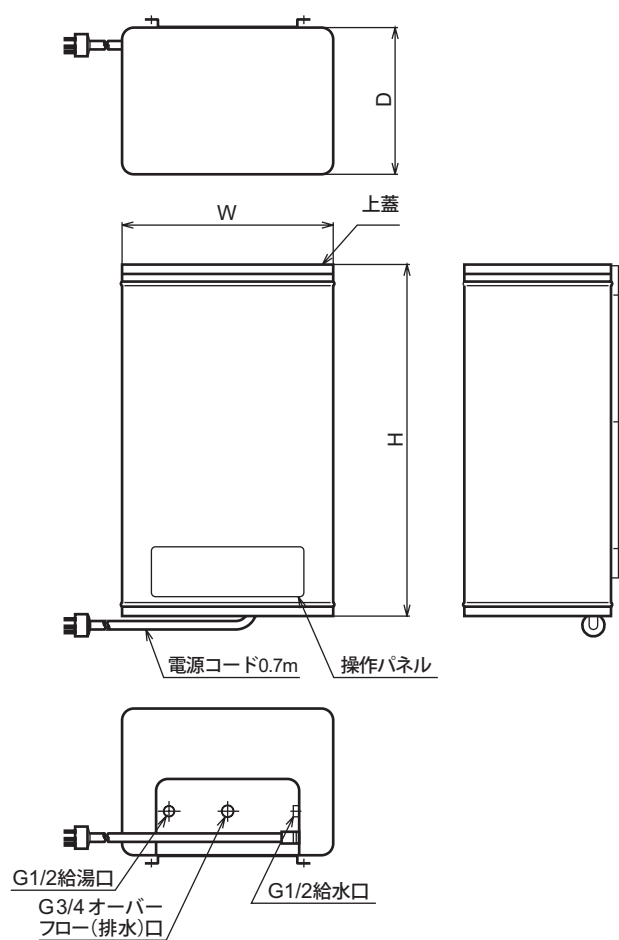
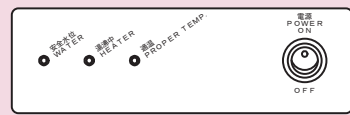
製品について

ご使用の前に

EW-N4A (壁掛型)



EW-N3A / EW-N4A 操作パネル (共通)



仕様表

標準電源……単相 100V / 200V

SB (ステップボイル) 型					BT (ボールタップ) 型				
項目	貯湯量 (リットル)	※1 標準 ヒーター 容量 (kW)	※2 給湯予測値 (沸き上がり温度 99℃ の場合)		項目	貯湯量 (リットル)	※1 標準 ヒーター 容量 (kW)	※2 給湯予測値 (沸き上がり温度 99℃ の場合)	
型番			① 沸き上がり 時間 (分)	② 飲用専用時 連続給湯予測値	型番			① 沸き上がり 時間 (分)	② 飲用専用時 連続給湯予測値
EW-14N4A-SB	14	0.75 / 0.75	110 / 110	107 杯	22	EW-12N4A-BT	12	0.75 / 0.75	94 / 94
EW-22N4A-SB	22	1.5 / 1.5	86 / 86	197 杯	31	EW-20N4A-BT	20	1.5 / 1.5	79 / 79
EW-32N4A-SB	32	1.5 / 2.0	126 / 94	317 杯	48	EW-30N4A-BT	30	1.5 / 2.0	118 / 88
EW-48N4A-SB	48	1.5 / 3.0	188 / 94	497 杯	67	EW-45N4A-BT	45	1.5 / 3.0	176 / 88
EW-68N4A-SB	68	1.5 / 4.0	266 / 100	487 杯	91	EW-65N4A-BT	65	1.5 / 4.0	254 / 96

※1：左は単相 100V、右は単相 200V のヒーター容量です。※2：能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。①沸き上がり時間：左は単相 100V、右は単相 200V。(水温 15℃ で算出) ②飲用専用時連続給湯予測値：飲用可能温度を BT 型 80℃ 以上、SB 型 90℃ 以上とし、100cc / 杯で算出。(毎分 4 リットルを飲用専用として使った場合の値であり、食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。)

寸法表

(単位 mm)

	EW-14N4A-SB EW-12N4A-BT	EW-22N4A-SB EW-20N4A-BT	EW-32N4A-SB EW-30N4A-BT	EW-48N4A-SB EW-45N4A-BT	EW-68N4A-SB EW-65N4A-BT
D	250	250	250	320	320
W	360	360	360	450	450
H	480	599	747	694	867
A	412	531	680	610	784
B	156	216	290	255	342
E	280	280	280	320	320
F	130	130	130	150	150

EW-N4A 型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

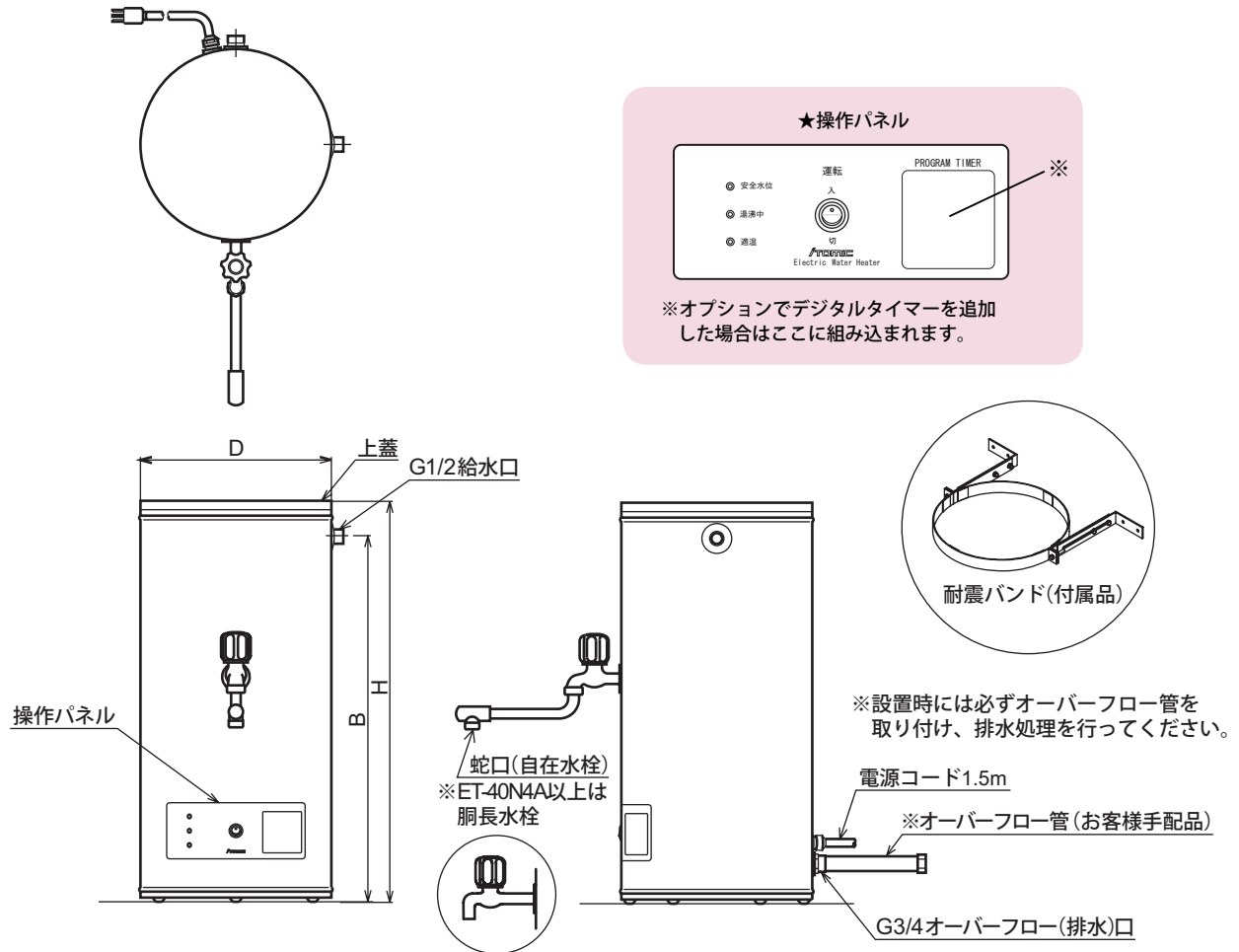
この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。(※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。)

場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

製品について

ET-N4A(置台型)

ご使用の前に



仕様表

標準電源……単相100V / 200V

項目 型番	貯湯量 (リットル)	※1 標準 ヒーター 容量 (kW)	※2 給湯予測値 (沸き上がり温度99℃の場合)		満水 質量 (kg)
			①沸き上がり 時間(分)	②飲用専用時 連続給湯予測値	
ET-12N4A	12	0.75 / 0.75	94 / 94	96 杯	20
ET-20N4A	20	1.5 / 1.5	79 / 79	160 杯	29
ET-40N4A	40	1.5 / 2.0	157 / 118	320 杯	55
ET-60N4A	60	1.5 / 3.0	235 / 118	480 杯	78
ET-90N4A	90	1.5 / 4.0	352 / 132	720 杯	114
ET-180N4A	180	1.5 / 5.0	704 / 211	1440 杯	221

※1: 左は単相100V、右は単相200Vのヒーター容量です。
※2: 能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。

①沸き上がり時間: 左は単相100V、右は単相200V。(水温15℃で算出)
②飲用専用時同時給湯予測値: 飲用可能温度を80℃以上とし、100cc / 杯で算出。(毎分4リットルを飲用専用として使った場合の値であり、食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。)

寸法表

(単位mm)

	ET-12N4A	ET-20N4A	ET-40N4A	ET-60N4A	ET-90N4A	ET-180N4A
D	φ 320	φ 320	φ 390	φ 410	φ 450	φ 570
H	532	672	787	912	1047	1182
B	472	612	722	847	982	1117
蛇口	自在水栓		胴長水栓			
蛇口数	1		2			

ET-N4A 型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。(※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。)

場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

運転時の注意事項

警告

	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	設置・メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口、排水管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

注意

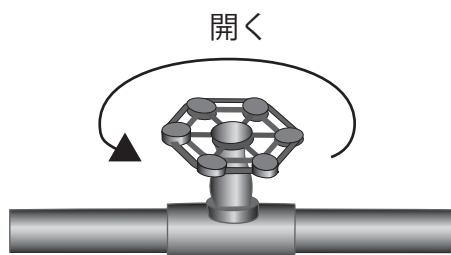
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	EW シリーズ：本体は湯沸器の運転質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	ET シリーズ：本体は湯沸器の運転質量に耐えられる十分な強度を持つ調理台などに必ず水平に設置し、付属の耐震バンドで固定してください。 転倒・漏水の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因になります。
	BT 型：満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	給湯温度が 60℃ 以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因になります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

その他の注意事項

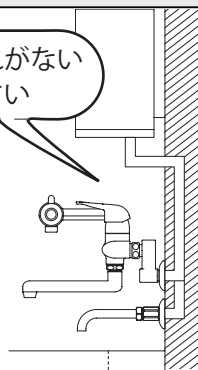
1	瞬間的にお湯を沸かすことができない貯湯式のため、運転開始から沸かし上げには時間がかかります。 また、出湯能力以上のお湯は一度に供給できません。(仕様表 P.3 ~ 6 参照) <給湯を続けた場合> SB 型…一定水位までは適温を保ちますがその後安全水位ランプが点滅し、湯温が下がりはじめます。 BT 型…徐々に湯温が下がり、最後に水になります。
2	開放型のため給湯圧力は落差分だけです。通常の水道のような水圧はありません。 ワンポイント EW シリーズは、一般の混合栓では十分なミキシングができません。 別売の混合栓『まぜまぜ』(MZ-N3 シリーズ)をご利用ください。
3	標高の高い場所でお使いになる場合、沸騰点が下がります。事前に弊社にお問い合わせいただくか、下記の数値を参考に設定温度を変更してください。 ※ 標高 800m ~ 1,000m の場合…95℃ 1,000m ~ 2,000m の場合…90℃
4	水検知を電極で行っていますので、純水もしくは純度の高い水では使用できません。 硬度の高い水は電極にスケールが付きやすくなりますので、定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンスについては弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までお気軽にお問い合わせください。
5	オーバーフロー(排水)管をふさがないでください。 湯気が本体と蓋のすき間から吹き出し、湯沸器付近の壁や天井に影響を及ぼす原因になります。

初めてお使いになるとき

1 止水栓を開ける ※この時点ではまだ給水されません。



配管部から水漏れがないか確認してください

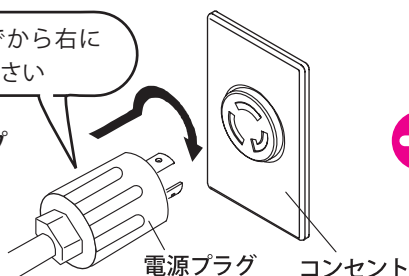


2 電源を入れる

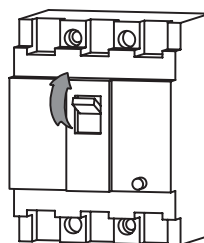
電源プラグがある場合は、コンセントに差し込み、一次側の漏電ブレーカをONにしてください。

差し込んでから右に回してください

200Vタイプの場合

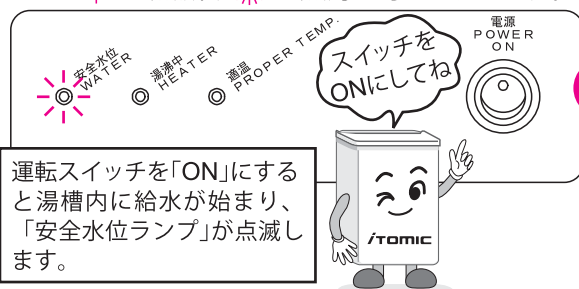


警告 運転時、プラグはコンセントに確実に差し込み、湯沸器専用の漏電ブレーカは確実に押し上げてください。火災のおそれがあります。濡れた手で電源の操作を行わないでください。感電のおそれがあります。



3 スイッチをONにして、安全水位ランプを確認する。

🌟は点滅、💡は点灯を示しています。



運転スイッチを「ON」にすると湯槽内に給水が始まり、「安全水位ランプ」が点滅します。

4 運転開始の確認

「安全水位ランプ」が点灯になり、湯沸中ランプが点灯し運転が始まります。
※SB型は段階的に水位を上げながら沸かすため、すぐに大量のお湯は使えませんのでご注意ください。



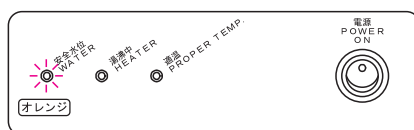
5 適温ランプの確認

適温になるとランプが点灯します。

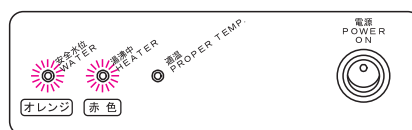


運転状態の表示… 🌟は点滅、💡は点灯を示しています。

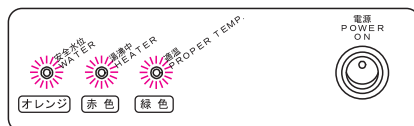
水位不足



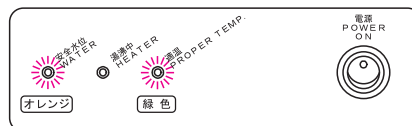
湯沸中
適温以下



湯沸中
適温



沸き上がり

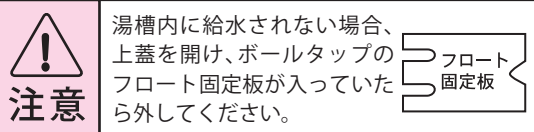
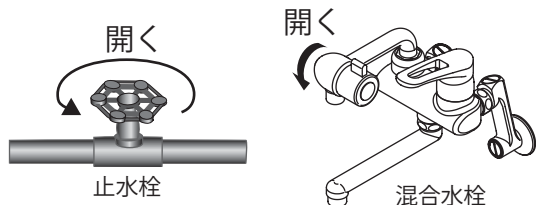


ランプが点灯・点滅しない場合やこれ以外の表示がされた場合は→ P.14「エラー表示」をご参照ください。

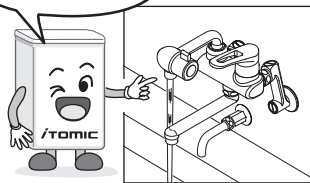
初めてお使いになるとき

1 止水栓を開けて通水を確認する

止水栓と混合水栓の湯側を全開にして、混合水栓から水が出るまで湯槽内に給水します。混合水栓から水が出たら、混合水栓を閉めて湯沸器本体や配管部からの水漏れがないか確認してください。



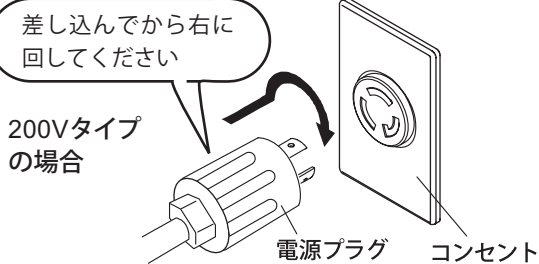
混合水栓から水が出たら閉めてね!



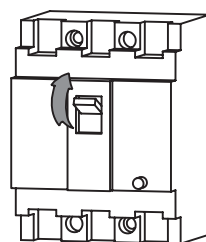
水漏れがないか確認してください

2 電源を入れる

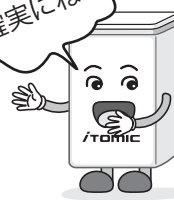
電源プラグがある場合は、コンセントに差してから、一次側の漏電ブレーカをONにしてください。



運転時、プラグはコンセントに確実に差し込み、湯沸器専用の漏電ブレーカは確実に押し上げてください。火災のおそれがあります。濡れた手で電源の操作を行わないでください。感電のおそれがあります。

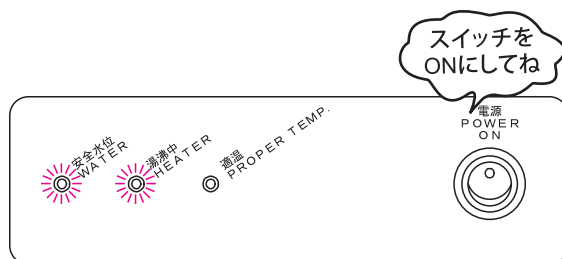


確実にね!

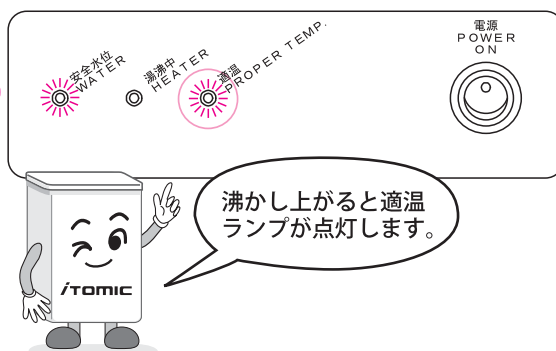


3 スイッチをONにして、安全水位ランプの点灯を確認する

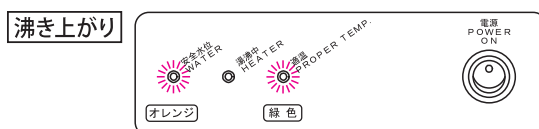
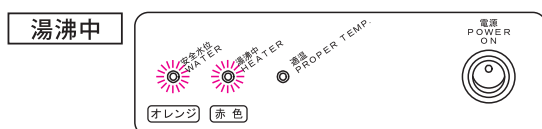
🌟は点灯を示しています。



4 適温ランプの確認



運転状態の表示… 🌟は点灯を示しています。



ランプが点灯しない場合やこれ以外の表示がされた場合は→ P.14「エラー表示」をご参照ください。

お手入れの方法

⚠ 警告

❗	排水時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。 感電のおそれがあります。
🚫	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
🚫	設置・メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
🚫	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

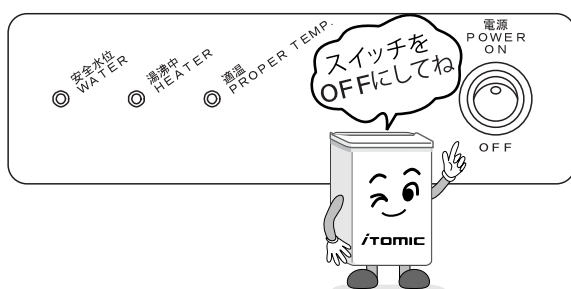
⚠ 注意

❗	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり、水質が悪化するおそれがあります。
---	---

■ 長期間使用しないときは(排水の方法)

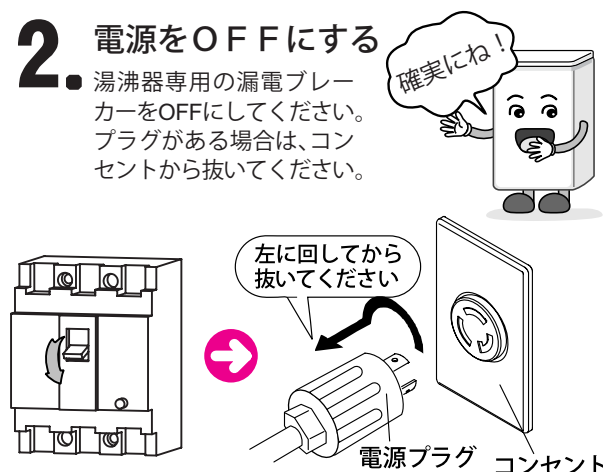
湯沸器を長期間使用しない場合には、以下の方法で湯槽内のお湯を抜いてください。

1. 運転スイッチをOFFにする



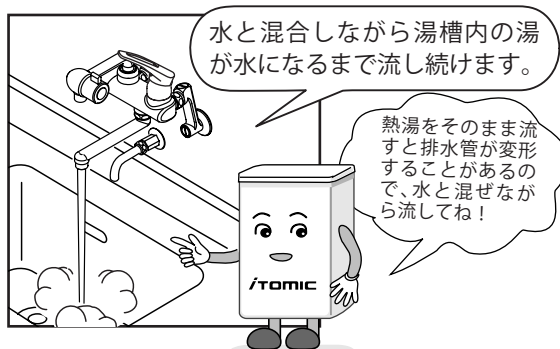
2. 電源をOFFにする

湯沸器専用の漏電ブレーカーをOFFにしてください。
プラグがある場合は、コンセントから抜いてください。



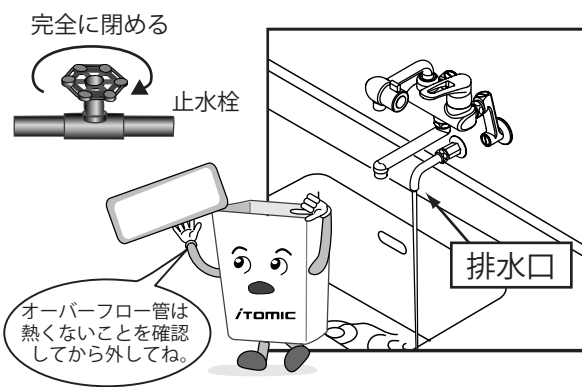
3. 湯槽内のお湯を水にします

湯槽内のお湯が水になるまで流し続けます。(必ず水と混合して流してください。熱湯を流し続けると流し台を傷める原因になります)
※SB型は湯槽内下部に熱湯が残っていますので、十分に冷ましてから排水してください。



4. 止水栓を閉めて排水します

止水栓を閉めた後、上蓋を開けてオーバーフロー管をねじりながら取り外すと排水口から排水が始まります。排水が終わったらオーバーフロー管を元に戻し、蓋を閉めてください。

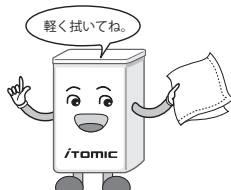


お手入れの方法

■ 日常のお手入れ

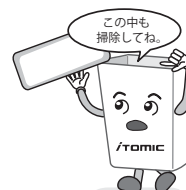
< 外装の清掃 >

少し湿った布で軽く拭いてください。清掃の際には水を直接掛けしないでください。



< 湯槽内の清掃 >

定期的に湯槽内部を点検し、スケール（水アカ）を除去して下さい。保証期間内であってもスケールによる不具合は保証対象外です。



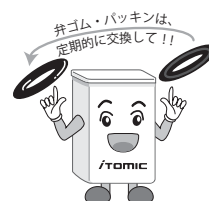
< 給水配管ストレーナーの清掃 >

定期的に給水配管ストレーナーの清掃が必要です。取付店に清掃方法・時期などをご相談ください。



< 消耗品の交換 >

ボールタップ・弁ゴム・上蓋パッキンは消耗品です。（P.15参照）定期的に交換してください。弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にてお求めください。



■ 保守点検項目と実施の目安…管理技術者の方のみ

点検するときはやけどや感電にご注意ください。

ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

点 検 項 目	点 検 内 容	実施の目安
管理技術者の方のみ 電圧の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はコントローラー故障の原因になります。	一回／月
管理技術者の方のみ 電流値の測定	定格電流の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定し1MΩ以上ある事を確認してください。 ※破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。	
自動給水器の作動点検 (BT型のみ)	給水が正常に行われていること、水位が正常に保たれていること、オーバーフローしていないことなどを確認してください。	
コードおよび接続部の点検	コードが熱を持っていたり、損傷していないこと。また接続部の締め付けにゆるみのないことを確認してください。とくに締め付けがゆるいと焼損の原因となりますのでご注意ください。	一回／日
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部からの漏水のないことを確認してください。	
湯槽内部の清掃	最低、年に一回以上は槽内およびヒーターの表面の湯アカ等をナイロンスポンジ（タワシなどで清掃してください。（槽内にはセンサーなどの突起物が出ていますので折ったり破損しないように、またケガのないようにご注意ください。）	
給水一次側フィルタの清掃	フィルタ内にゴミが詰まると湯沸器の性能に影響しますので最低、年に一回以上は止水栓を閉めてフィルタ内のゴミを除去してください。	適宜

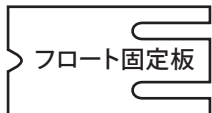
※消耗品については、P.15「アフターサービス」をご参照ください。

故障と思われる前に

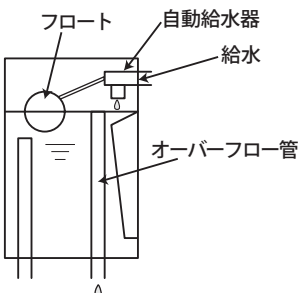
故障かな？と思っても実際には製品の故障でないことがありますので、修理を依頼される前に次の表を参考にしてチェックしてください。

点検するときはやけどや感電にご注意ください。

ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

状 況	チェックポイント	処 理 方 法
運転スイッチを押しても何も点灯しない。	①ブレーカが OFF になっていませんか？ ②電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ ③電圧は正常ですか？ ④止水栓が閉まっていませんか？(BT 型のみ) ⑤湯槽内のフロート固定板が付いたままではないですか？(BT 型のみ) ⑥給水の途中ではありませんか？(BT 型のみ) ⑦水位センサーにスケールが付着していませんか？(BT 型のみ)	①ON にしてください。 ②確実に差し込んでください。 ③ 100V の製品に 200V を接続するとコントローラーが破壊され一切表示しません。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。 ④閉まっていたら開いてください。 ⑤フロート固定板を外してください。  フロート固定板 ⑥湯槽内が満水状態になるまでお待ちください。 ⑦スケールをナイロンスポンジ(タワシ)などで除去してください。
「安全水位ランプ」が点滅している ※SB 型のみ 	湯を一度に使いすぎた場合や、水を全部排水してから運転スイッチを ON にした場合に点滅します。	湯を使いすぎた場合は給湯蛇口を閉め、しばらくお待ちください。点灯に変わり、その後湯沸中ランプが点灯します。 (点滅している間は給水しますが、5 分間経過しても「安全水位」に達しない場合、給水異常となり「適温ランプ」も点滅して異常表示になります。) ⇒ P.14「エラー表示」参照
湯温がぬるい。 (沸き上がりが遅い)	①「適温ランプ」は点灯していますか？ ②配管距離が長くありませんか？	①【BT 型】 使用したお湯の量だけ給水され、沸かし上げに時間がかかります。「適温ランプ」が点灯するまでしばらくお待ちください。 【SB 型】 湯量、湯温共に低下しています。「適温ランプ」が点灯するまでしばらくお待ちください。 ②配管距離が長い場合、冷水が配管に溜まっていますので、しばらく流してからご使用ください。

故障と思われる前に

状 況	点 検 事 項	処 理 方 法
湯量が少ない。 湯も水も出ない。	①毎分3～4ℓ位ですか？ ②給湯蛇口は吊り駒式ですか？ ③止水栓は全開になっていますか？ ④立ち上げ水栓ですか？ ⑤給水口接続部のフィルタにゴミが詰まっていますか？	①大気開放型（落差給湯方式）のため、流量を増やす事はできません。 ②給湯圧力が低いため、市販の蛇口ではお湯の出が悪くなる場合があります。専用給湯蛇口（吊り駒式）をお使いください。 ③全開にしないと十分な流量が出ません。 ④立ち上げ水栓の場合は下に長く配管すると抵抗が大きくなり、エアーも溜まりやすくなるので湯の出方が悪くなります。必要な場合は配管の見直しを行ってください。 ⑤止水栓を止め、フィルタの清掃をしてください。
給水時、湯沸器本体および配管に振動音がする。	①給水圧が高くありませんか？ ②給水管に長いフレキ管を使用していないですか？ また、配管支持はしっかりされていますか？	①給水圧が高い（0.3MPa を越える場合）と振動音「ウォーターハンマー現象」が起きる場合があります。弊社の減圧弁「いちじく（iJG-1）」のご使用をおすすめします。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。 ②配管を固定されていないと振動音が出ることがありますのでしっかりと固定してください。
給湯蛇口を閉めても湯が止まらない。	給湯蛇口のパッキンが古くなっていますか？	パッキンの交換を行ってください。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
湯が臭い。 湯が汚れている。	槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	新設時は配管工事の際の切削油等が流入する事がありますので、その場合は湯槽内の湯を数回入れ替えて洗浄してください。
漏水している。	①オーバーフロー管からですか？ （SB型は P.14 「エラー表示」を参照）  ②配管接続部からですか？	①オーバーフロー管から漏水している場合、自動給水器の弁ゴムの交換、もしくは給水圧力の調整が必要となります。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。 ②配管接続部を締め直してください。

エラー表示

本器は各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときには、ランプ表示でエラーが表示されます。

エラー表示がされた時は、**エラー表示を確認後、運転スイッチを切ってください。**

◎：ランプ点滅 ○：ランプ点灯 —：ランプ消灯



SB型 エラー表示

ランプ表示			異常内容	原因と処理の方法
オレンジ	赤	緑		
○	◎	—	過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	ヒーター用リレー溶着 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
◎	—	◎	給水異常	- 給湯蛇口を開け放しにした - 止水栓が閉じられた - 断水 - 下部の水位センサースケール付着 ⇒給湯蛇口や止水栓の状態をご確認ください。スケール付着の場合はナイロンタワシなどで除去します。
○	◎	◎	オーバーフロー	- 上部センサースケール付着 ⇒スケールをナイロンタワシ等で除去します。 - 自動給水弁故障 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
○	—	—	ヒーター断線	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
○	—	◎	温度センサー故障	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
—	—	—	- 電源が入っていない - 水位異常 - 水が入っていない - 水が入っている - その他	⇒電源を入れてください。 ・止水栓が閉じられた ・断水 ・水位センサースケール付着 ⇒止水栓をご確認ください。スケール付着の場合はナイロンタワシなどで除去すれば直ります。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。



BT型 エラー表示

ランプ表示			異常内容	原因と処理の方法
オレンジ	赤	緑		
○	—	—	- 温度センサー故障 - 過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。
—	—	—	SB型と同様	SB型と同様

お困りの時

アフターサービス

消耗品について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗品です。劣化による動作不良や水漏れを防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)・購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	型式	交換時期の目安	交換いただく理由
弁ゴム	BT型	設置・交換日より2年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や水漏れを起こす可能性があります。水漏れが起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。（※水道水中のミネラル分が固着したものの。）
上蓋パッキン類	共通	設置・交換日より3年	
ヒーター		設置・交換日より5年	
自動給水井	SB型		
ボールタップフロート	BT型		

上記以外でも使用状況によってパッキン類や電子部品交換が必要になる場合があります。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼される時は下記の故障状況シートのコピーに必要事項をご記入いただき、FAX にてご送付ください。FAX をお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。型番等は本体に貼られている保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。

保証票 GUARANTEE LABEL	
型番 Model	屋内用
製造番号 Serial No.	
電源・電力	最高使用圧力 MPa
株式会社 日本イトミック	

(株) 日本イトミック フロント課 FAX 03-3621-2163 (TEL 03-3621-2161)

※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート

貴社名		ご担当者	
住所			
TEL		FAX	
型番			
電源・電力		製造番号	
設置場所		保証期限	

状態・エラー表示等

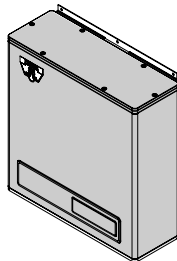
施工前の準備

■ 施工前にご確認ください

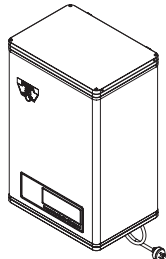
① 部品の確認

【同梱されています】

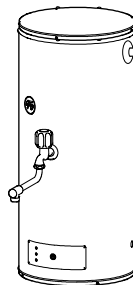
湯沸器本体



【EW-N3A】



【EW-N4A】



【ET-N4A】

付属品(全型番共通)



取扱説明書×1

(この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

EW-N3A 型 付属品

1/2B 給湯フレキ管(L=120) × 1
1/2B 給水フレキ管 × 1
BT 型(L=200)、SB 型(L=120)
3/4B 排水フレキ管(L=120) × 1
止水栓 × 1
本体取付板 × 1

EW-N4A 型 付属品

1/2B 給湯フレキ管(L=120) × 1
3/4B 排水フレキ管(L=120) × 1
本体取付板 × 1
ローレットねじ × 2

ET-N4A 型 付属品

耐震バンド × 1
ET-12/20N4A の場合
自在水栓 × 1
ET-40 ~ 180N4A の場合
胴長水栓 × 2

【必ずお客様にてご手配ください】

EW-N3A 型

- ① 漏電ブレーカ …… 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA・0.1秒)
- ② 混合水栓 …… 弊社の『まぜまぜ』シリーズが必要です。(次ページ「混合水栓について」参照)。
- ③ 取付部材 …… 湯沸器を壁面に取り付けるために必要です。

EW-N4A 型

- ① 漏電ブレーカ …… 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA・0.1秒)
- ② 給水管 …… 給水口を接続するために1/2B フレキ管が必要です。
- ③ 止水栓 …… 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ④ 混合水栓 …… 弊社の『まぜまぜ』シリーズが必要です。(次ページ「混合水栓について」参照)
- ⑤ 取付部材 …… 湯沸器を壁面に取り付けるために必要です。

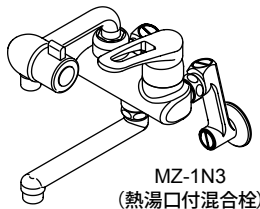
ET-N4A 型

- ① 漏電ブレーカ …… 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA・0.1秒)
- ② オーバーフロー管 …… オーバーフロー(排水)口を接続するために3/4B 排水フレキ管が必要です。(湯沸器からシンクまでの長さが必要です)
- ③ 給水管 …… 給水口を接続するために1/2B フレキ管が必要です。
- ④ 止水栓 …… 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。

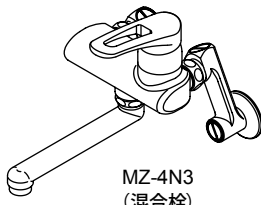
施工前の準備

重要：混合水栓について

開放型のEWシリーズの給湯圧力は落差分だけのため、通常の水道のような水圧はありません。そのため一般の混合栓では十分ミキシングができませんので、必ず熱湯口付混合栓『まぜまぜ』シリーズ（型式：MZ-N3）をご用意ください。



MZ-1N3
(熱湯口付混合栓)



MZ-4N3
(混合栓)

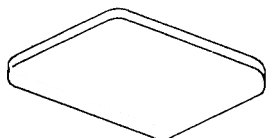
【EW専用まぜまぜ(MZ-N3シリーズ)ラインナップ】

- MZ-1N3 (熱湯口あり、埋込み配管型)
- MZ-2N3 (熱湯口あり、露出配管型、EW-N3専用)
- MZ-3N3 (熱湯口あり、立ち上がり配管型)
- MZ-4N3 (熱湯口なし、埋込み配管型)
- MZ-5N3 (熱湯口なし、露出配管型、EW-N3専用)
- MZ-6N3 (熱湯口なし、立ち上がり配管型)
- MZ-7N3 (熱湯口あり、埋込み／露出配管型)
- MZ-8N3 (熱湯口あり、埋込み／露出配管型、EW-N4専用)
- MZ-9N3 (熱湯口あり、露出配管型、EW-N4専用)

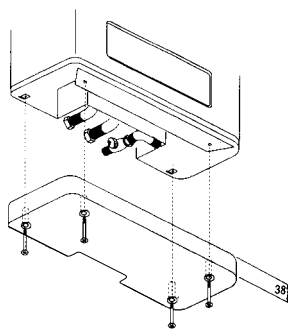
【関連商品：必要な場合は弊社にご用命ください】

配管カバー（EWシリーズ）

埋め込み配管の現場で配管を外部に見せたくない場合、本体下部に装着して配管を隠します。



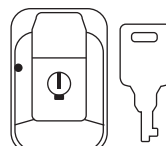
EW-N4用



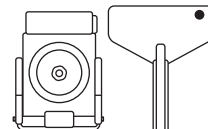
EW-N3用(取り付け方)

パチン錠・ターンキャッチ

外部からの異物混入や地震などによる湯の飛散を防止します。



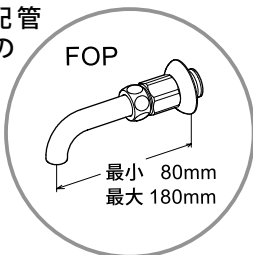
パチン錠



ターンキャッチ

オーバーフローパイプ FOP (EW-N3/N4の埋込み配管用)

EW-N3およびEW-N4の配管を埋込み配管にする場合のオーバーフロー処理用にお使いください。



最小 80mm
最大 180mm

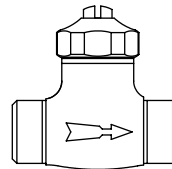


デジタルタイマー（ET-N4A）

組み込み型で湯沸器本体にすっきり収納されるデジタル式タイマー。汎用的運転パターン「おすすめプログラム」をインプット済みで非常に便利。勿論、毎日異なったプログラム設定も可能です。

止水栓（EW-N4、ET-N4A用）

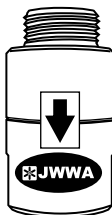
給水配管中に止水栓が必要です。



一軸型減圧弁 いちじく (iJG-1)

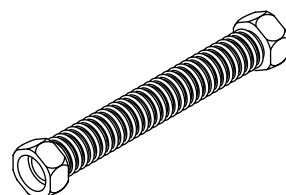
わずか4.4cmの小型減圧弁。ウォーターハンマー防止、ボールタップの止水能力アップに効果的です。

※給水圧が0.3MPaを越える場合は、必ずお取り付けください。



ステンレスフレキ管

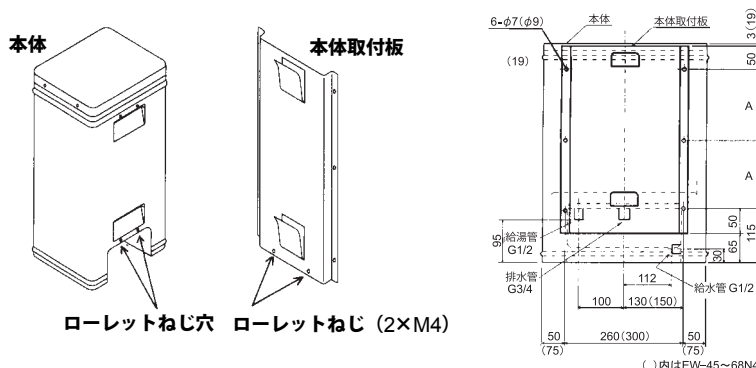
給水、給湯、排水管にご使用ください。お客様のご都合により長さ指定が可能です。



工事説明

■ **EW-N4A 型** …消防法設置基準に基づく離隔距離はP.5 をご参照ください。

取付板のローレットねじ（2 本）を取り外してから、本体を壁面に設置した取付板に引っ掛けます。本体を取付板に引っ掛けたら本体と取付板をローレットねじで固定します。



機 種	A 寸法
EW-12 / 14-N4	156
EW-20 / 22-N4	216
EW-30 / 32-N4	290
EW-45 / 48-N4	255
EW-65 / 68-N4	342

置台型手順

1. 湯沸器の設置場所が運転質量に耐えられる水平な場所かを確認する。
2. 本体を設置する。

■ **ET-N4A 型** …消防法設置基準に基づく離隔距離はP.6 をご参照ください。

湯沸器の設置場所が運転質量に十分耐えられることを確認してから水平に設置してください。付属の耐震バンドで湯沸器を固定してください。

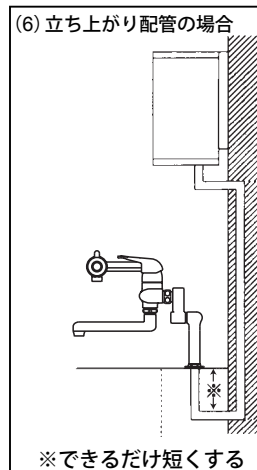
配管工事

⚠ 注意

- 湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
- 水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
- 給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。漏水の原因になります。
- BT 型：満水にしてから通電してください。故障の原因となります。
- 規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。誤動作や故障の原因になります。
- 水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。タンクや配管が破裂してやけどをするおそれがあります。

【配管工事についての注意事項】

- (1) 全ての配管は湯沸器がいつでも着脱できるように必ずお客様手配品のユニオンや袋ナットを使用して取り外し可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。（止水栓はEW-N3では付属品、EW-N4およびET-N4Aではお客様手配品）
- (2) 給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
- (3) 給水圧力が0.3MPaを越える場合には、必ず一次側に減圧弁を取り付けてください。（関連商品の『いちじく (iJG-1)』(P.17参照)をご発注いただくか、別途お客様にてご手配ください。）
- (4) 給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は必ず壁に固定してください。固定しないとウォーターハンマー現象が起きる場合があります。
- (5) 給湯配管の横引き距離は落差距離の3倍までにしてください。給湯栓はまぜまぜ (MZ-N3 シリーズ) もしくは湯水の出がよい吊り駒式のものを使用してください。
- (6) 給湯圧力は落差分しかありません。立ち上がり配管の場合は右図※部の立ち上がり距離を短くしてください。また、配管内に空気溜りがあるとお湯が出ませんので、空気抜きを行ってください。



工事説明

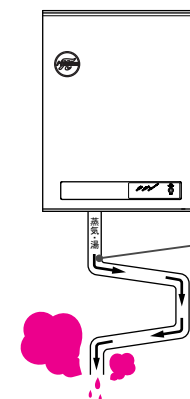
- (7) 排水管に直接排水を行う配管接続にすると、クロスコネクションになるだけでなく排水時の熱湯による熱影響によって配管各接続部より水漏れを起こす原因となりますので、排水はシンク（流し）に排水するように配管施工してください。

EWシリーズを取り付ける現場が埋め込み配管の場合は関連商品の壁面取付用オーバーフローパイプ（FOP）をお使いいただくと、簡単に施工できます。

また、排水管の施工を行う際には、必ず下り勾配にするとともに、絶対にバルブは設けないでください。（右図参照）万一オーバーフロー（排水）管が塞がれた場合、湯気が水として溜まるため、湯気が出にくくなります。

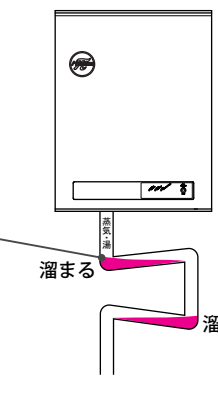
(7) 排水管の下り勾配配管図

◎【正しい配管】



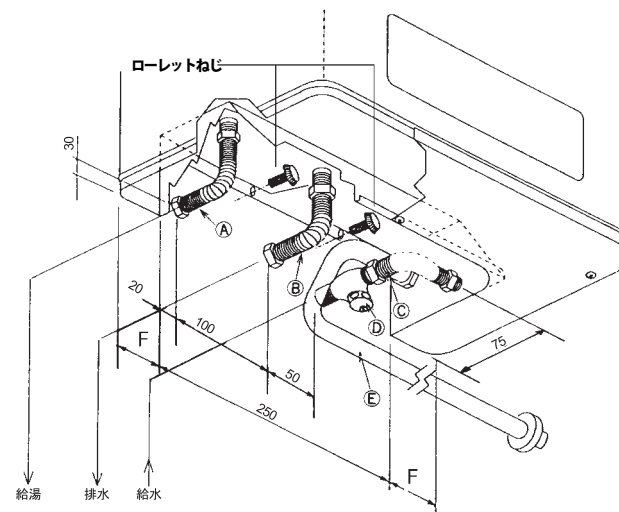
下り勾配で正しく配管されていれば湯気がオーバーフロー管から排出される。

✕【間違った配管】



下り勾配で配管されていないと、湯気や排水が溜まって排水管を塞いでしまい、上蓋のすき間から湯気が吹き出す原因となる。

EW-N4A 型配管例

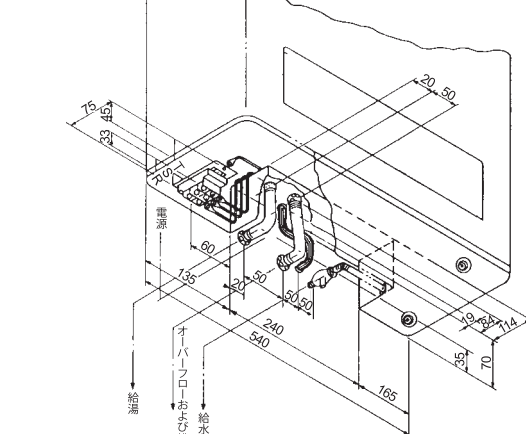


配管セット（給湯、排水フレキ管）は標準付属品です。

- A：1/2B 給湯フレキ管（L=120）、
- B：3/4B 排水フレキ管（L=120）
- C：1/2B 給水フレキ管（L=100）（関連商品）
- D：止水栓（関連商品）
- E：電源コード 0.7m

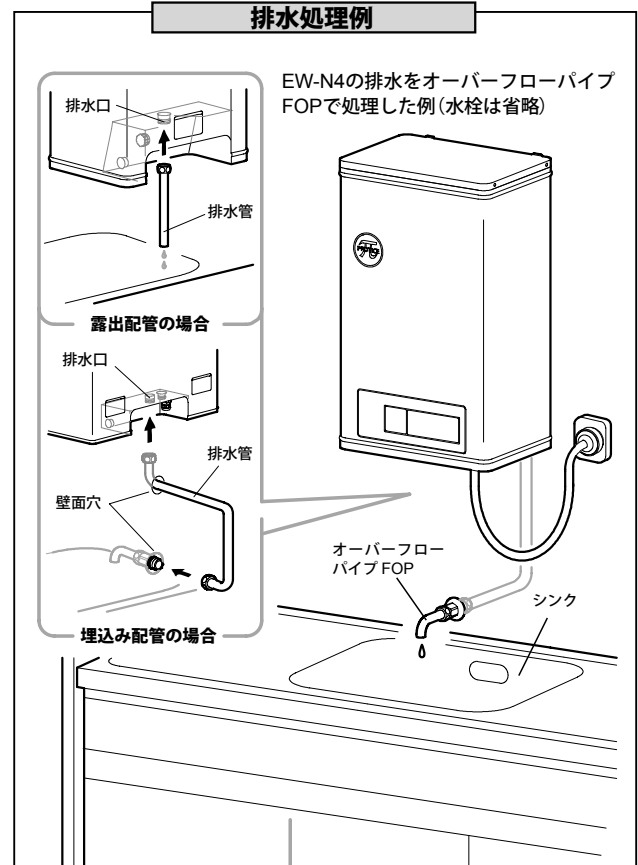
F：寸法 55（12～32N4）
100（45～68N4）

EW-N3A 型配管例



止水栓 / 配管セット（給湯、給水、排水フレキ管）は標準付属品です。
1/2B 給湯フレキ管（L=120）
1/2B 給水フレキ管（BT 型は L=200、SB 型は L=120）
3/4B 排水フレキ管（L=120）

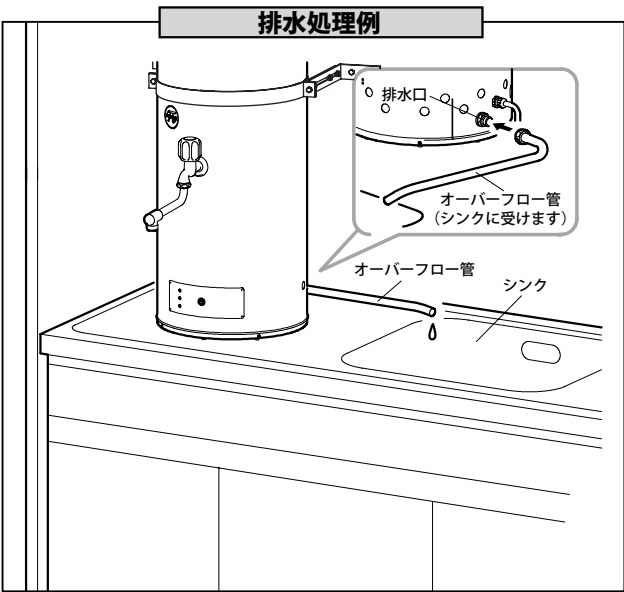
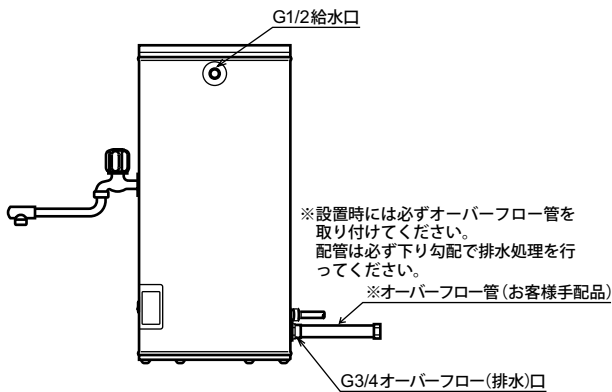
排水処理例



工事説明

ET-N4A 型

給水と排水の配管を行ってください。

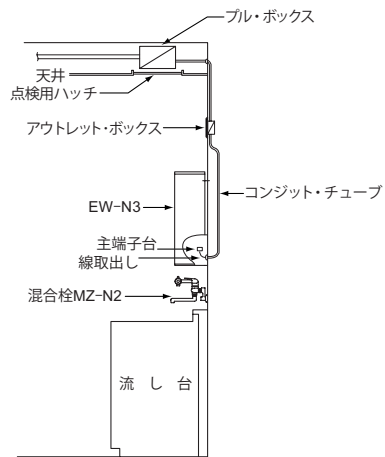


電気工事

⚠ 警告	
⚡	アース (D種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
!	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因になります。
!	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電・火災のおそれがあります。
🚫	絶対に改造はしないでください。 火災・感電・やけどやケガの原因となります。

EW-N3A 型

EW-N3 型は意匠面を考慮し、電源コードおよびプラグを付属していません。従ってアウトレットBOX等を設けていただき、そこから湯沸器内の端子台までの接続工事をお願いいたします。(オプションでコード、プラグ付もあります) また、緊急時の遮断用として手の届く位置に手元盤 (漏電ブレーカ) を設けてください。



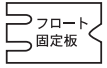
EW-N3A 型以外

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んで、漏電ブレーカを ON にしてください。

工事説明

確認事項

工事終了後、下記の事項を必ずご確認ください

Check ☐	1. 供給電圧の確認	定格電圧の±10%以内でご利用ください。過電圧の場合、ヒーターの寿命が著しく短くなり電子部品が破損する場合があります。(通常ヒーターの寿命は使用頻度や水質、保守などにより異なります。)低電圧の場合、機器の運転ができなくなります。		
		メモ	電圧の測定はテスターでコンセントに通電している電圧を測ってください。(測定後、コンセントにプラグをしっかり差し込んでください。)	注意 アース付きコンセントの場合には接地極に電圧はかかりません。
Check ☐	2. フロート固定板の取り外しの確認(BT型のみ)	上蓋を開け、湯槽内のフロート固定板を必ず取り外してください。 		
Check ☐	3. ボールタップ部の作動確認 (BT型のみ)	ボールタップ部の作動を確認してください。自動給水装置ですので、使用した湯量分の水を自動的に補給します。(1リットル出湯すれば1リットル給水されます。)万一、オーバーフローしていると「湯が沸かない」などの不具合となりますのでご注意ください。また、補給水が不足すると給湯時、湯面が下がって蛇口を開いても給湯することができません。従って、常に正常に作動していることを確認する必要があります。		
Check ☐	4. 給水配管ストレーナーの詰まりの確認	給水配管ストレーナーにゴミが詰まっていないか確認してください。		
Check ☐	5. 通水の確認 (BT 型のみ)	止水栓を開き、湯槽内に給水してください。この時、給湯蛇口を開き配管内のゴミなどが流れるように10分ほど出し続けてください。もし湯槽内に沈殿物などがある場合にはオーバーフロー管を外して排水し、沈殿物を取り除いてください。(オーバーフロー管は左にねじれば簡単に外れます。)口を開いても水が吐出しない場合は水位が低すぎるためです。水位は給水圧力により変わりますので、この場合はフロートのアームを曲げてフロートが若干上になるようにしてください。水位が正常でも給湯蛇口が吊り駒式でないと正常に吐出しませんのでご注意ください。		
Check ☐	6. 取り付け状態および強度の確認	取り付け状態・壁の強度を確認してください。		
Check ☐	7. 配管および接続部の確認	各配管および接続部を確認し、漏水がないか確認してください。プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。		

アドバイス&メンテナンス

データベース管理と専門技術で安心・快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに、快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

アフターサービス(最寄りのイトミック製品販売拠点へ)

一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)
0570-011039
市内通話料OK
ナビダイヤル®
携帯電話・PHS・IP電話の場合: 03-3621-2161
※お電話の前に型番・製造番号をご確認ください。

メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL : 03-3621-2161
FAX : 03-3621-2163

24時間サービス体制

夜間専用電話 : 東京 03-3621-2161

● ISO9001 認証取得 ● 経済産業省電気用品製造事業届出工場 ● 日本水道協会検査委託登録工場 ● 日本電気工業会正会員 ● 日本ボイラ協会会員 ● 建設業許可

株式会社 日本イトミック

営業本部

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL 03(3621)2121(大代表) FAX 03(3621)2130

フロント課(保守・部品・修理)

TEL 03(3621)2161(代表) FAX 03(3621)2163

本社工場

〒143-0002 東京都大田区城南島 4-6-8
TEL 03(3799)7311(代表) FAX 03(3799)7910

ホームページ <http://www.itomic.co.jp/>

《地区販売会社・営業所》

北海道地区 ● (株)北海道イトミック	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5-1(ラポール24軒2号館)	TEL 011(615)6681(代)	FAX 011(615)7004
東北・新潟地区 ● (株)東北イトミック	〒981-3125 仙台市泉区みずほ台 4-3	TEL 022(773)6161(代)	FAX 022(773)6213
中部・北陸地区 ● (株)中部イトミック	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-4-14(アレックスビル 3F)	TEL 052(222)2561(代)	FAX 052(222)2559
近畿地区 ● 関西イトミック(株)	〒541-0041 大阪市中央区北浜 3-7-12(東京建物大阪ビル)	TEL 06(6226)0800(代)	FAX 06(6226)0802
中国・四国地区 ● (株)中国イトミック	〒730-0051 広島市中区大手町 1-7-12(徳永ビル)	TEL 082(240)1361(代)	FAX 082(240)1363
九州・沖縄地区 ● (株)九州イトミック	〒812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-5	TEL 092(481)3911(代)	FAX 092(481)3930

※品質改良などにより予告なく仕様変更、モデルチェンジ、価格改定、取り扱い中止などを行う場合があります。あらかじめご了承ください。



この印刷物は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

09.08-7-1-1.8 ①